

① 1 から 5 に何を 入れますか。文章の意味を 考えて、
1・2・3・4から いちばん いい ものを 一つ えらんで ください。

私たちが毎日見る漢字の中には、絵から生まれたものもあります。漢字をおぼえるときはこんな話をしながらおぼえるのも楽しいでしょう。

昔々ある山の中に2人の兄弟が住んでいました。2人は山で動物やくだものをもって、町に売り 1 行って生活をしていました。兄弟の住んでいる山から町まで、とても遠いので、兄は道に小さい石を落としながら町に向かいます。こうすれば、よる遅く 2 道に迷わないでうちに帰れます。

あるとき、兄が病気になったので、かわりに弟が町に行くことになりました。弟は大きい荷物を持って、道に米を少しずつ落としながら行きました。荷物が重かった 3、石を持って行きたくなかったのです。けれども、その米は鳥にすっかり 4、弟は道に迷ってしまいました。道に米を落として迷ったのです。 5、「迷う」の漢字には「米」と道を表す「之」があるのです。

- 1
- | | |
|------|-----|
| 1 で | 2 に |
| 3 まで | 4 が |
- 2
- | | |
|--------|--------|
| 1 なって | 2 なるが |
| 3 なっても | 4 なったし |
- 3
- | | |
|------|------|
| 1 で | 2 ので |
| 3 のは | 4 のに |
- 4
- | | |
|----------|------------|
| 1 食べてしまい | 2 食べてくれ |
| 3 食べてあげ | 4 食べられてしまい |
- 5
- | | |
|-------|--------|
| 1 それで | 2 やっぱり |
| 3 しかし | 4 その上 |

◆ふりがな付き正解文

● 太字の部分は正解です。正解が入った正しい文をもう一度読んで、読み力をつけましょう。

わたしが毎日見る漢字の中には、絵から生まれたものもあります。漢字をおぼえるときはこんな話をしながらおぼえるのも楽しいでしょう。

昔々ある山の中に2人の兄弟が住んでいました。2人は山で動物やくだものをとって、町に売りに行って生活をしていました。兄弟の住んでいる山から町まで、とても遠いので、兄は道に小さい石を落としながら町に向かいます。こうすれば、よる遅く**なっても**道に迷わないでうちに帰れます。

あるとき、兄が病気になるので、かわりに弟が町に行くことになりました。弟は大きい荷物を持って、道に米を少しずつ落としながら行きました。荷物が重かった**ので**、石を持って行きたくなかったのです。けれども、その米は鳥にすっかり**食べられてしまい**、弟は道に迷ってしまいました。道に米を落として迷ったのです。**それで**、「迷う」の漢字は「米」と道を表す「之」があります。

◆こたえるためのかいせつ

- 1
- 1・3・4 動詞ます形に続かないので、×
These do not continue the *ます* form, so
 - 「に」は動詞ます形に続いて、もくてきを表すので、○
「に」 can be used to continue the *ます* form, showing an objective so ○
- 2
- 前の文と後ろの文は、はんたいのことを言っているので、×
The sentence before and afterwards are saying opposite things so
 - 後ろの文と続かないので、×
Doesn't continue into the following phrase, so
 - 1と同じ理由で、○
Same reason as 1, so ○
 - 「夜遅くなった」ことは、「道に迷わない」理由ではないので、×
“It became late at night” is not a reason for “not to lose the way,” so
- 3
- 理由を表す「で」は動詞に続かないので、×
「で」, which shows a reason, cannot follow a verb, so
 - 理由を表すので、○
Shows a reason, so ○
 - 後ろの文と続かないので、×
Doesn't continue into the following phrase, so
 - 「のに」の後ろには、前の文と反対の意味の文が続くので、×
A phrase of the opposite meaning comes after 「のに」, so

◆おぼえましょう

4

- 1 「鳥に」の後には受身形がくるので、×
The passive form should follow after 「鳥に」, so
- 2 「～てくれる」はうれしいことを表す表現。「鳥が食べた」ことはうれしいことではないので、×
「～てくれる」shows a good thing. It is not a good thing that “the birds ate it,” so
- 3 「食べた」のは、鳥なので、×
The one that ate was the birds, so
- 4 受身形でざんねんな気持ちを表しているので、○
A passive form shows a feeling of disappointment, so ○

5

- 1 理由を表すので、○
Shows a reason, so ○
- 2 「やっぱり」は「おもったとおり」という意味なので、×
「やっぱり」means “as I thought,” so
- 3 「しかし」の後ろには、はんたいの意味の文がくるので、×
An opposite meaning sentence must follow 「しかし」, so
- 4 「その上」は、なにかを付け足す表現なので、×
「その上」is for a phrase adding something, so

◆よむためのかいせつ

たいせつな たんご

昔	むかし	a long time ago
兄弟	きょうだい	brothers
落とす	おとす	to drop
迷う	まよう	to be lost
荷物	にもつ	luggage
米	こめ	rice

- ある (山の中)

はっきり場所などを言わない表現。ものがたりなどに使われる。
Expression which does not clearly specify a place. Used in stories, etc.

=どこかの (山の中)

【例】あるところに、おじいさんと おばあさんが すんで いました。

あるひ、ふたりは 町に 行きました。

- 町に向かいます。

=町に行きます。

- 道に迷わないで

=道がわからなくならないで

- 町に行くことになりました。

=町に行くことにきめました。

- すっかり

=ぜんぶ